



Rotary Weekly



広島空港ロータリークラブ週報

2022年9月7日発行

会長 河井一郎 / 副会長 小島勘次 / 幹事 谷本佳弘 / SAA 兼田昌紀

事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階

TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

2022-23年度
国際ロータリーテーマ

例会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

9月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
例会 公式訪問 休会 例会

本日のプログラム (9月7日)

がん予防推進委員会 佐々木委員長
「がん予防 歯科医の立場から」

次回のプログラム (9月14日)

石川ガバナー公式訪問

第1238回 2022年8月31日 吉田ガバナー補佐プレ公式訪問例会記録
(フォレストヒルズガーデン)



会長からひと言

本日はプレ公式訪問となり、吉田大造ガバナー補佐、松井孝光ガバナー補佐随同行幹事にお越しいただきました。大変お忙しい中、誠にありがとうございます。



来月14日は石川ガバナー公式訪問となりますので会員の皆さん宜しくお願いします。

さて、今週になり、ようやく三原市ではコロナ感染者数が二桁までとなりました。とはいえ当クラブのエリアとなります東広島市、ガバナー補佐、補佐幹事の所属されております尾道市においても連日200人、100人以上と続いており、まだまだ油断は禁物であります。速やかにピークアウトとなり、感染者数推移も右肩下がりになる事を願っておりますが引き続き感染予防対策の徹底を図っていきましょう。

本日のプレ公式訪問が執り行われます事、心よりお慶び申し上げます。後ほどガバナー補佐吉田大造さまより卓話をお願いします。有意義な時間となられます事、祈念申しあげ私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞ宜しくお願いします。

幹事報告

《配布物》プレ公式訪問次第・週報1237号

8月理事会報告

《回覧》今後の例会行事出欠表

日本国際ボランティアセンターより物品支援のお礼状

点 鐘 河井会長

ロータリーソング「我等の生業」

ご 紹 介

G9 ガバナー補佐 吉田大造 様 (尾道RC)
ガバナー補佐幹事 松井孝光 様 (")

出 席 報 告

	会員数 シニア会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本 日	27	17	0	6	73.91
8/31)	1	0		4	
メイク					

食事時間 (黙食)



報告事項

奉仕プロジェクト委員会 三好委員長

2年前から皆様にご協力いただき、使用済み切手、書損じハガキ等を日本国際ボランティアセンターにお送りしていますが、お礼状が届きましたので回覧いたします。今年度もよろしくお願ひします。

2022年8月18日

物品支援を受領いたしました

ご担当者さま、

この度は日本国際ボランティアセンター(JVC)の活動を支えるために物品をお送りいただき、誠にありがとうございました。当方からの拝受のご連絡が遅くなり、申し訳ございません。7月にお送りいただいた物品は、JVCが責任をもって管理・換金し、活動の大切な資金源とさせていただきます。全国の皆さまから届く物品は、大きな支援の力になります。2021年度は、皆さまにいただいた10,500件の物品が、約2,500万円分もの支援になりました。支援活動について、詳しくは裏面の写真をご覧ください。

◆どんな支援につながるの？

2021年度は、全国から約1万件が届き約2,500万円分の支援に変わりました！



◆南アフリカでは…

大人の5人に1人がHIVに感染している南アフリカ。エイズで親を亡くすなど、困難な家庭環境下にある子どもたちに、JVCは「菜園づくり」研修を行っています。栄養いっばいの給食にもなり、食べものを心配せずに暮らすようになります。「自分で作ったものがセンターの給食に使われ、食べるのが楽しみ」といい、熱心に菜園の管理をする子どもたちです。

使用済み切手6.5kgが集まれば、10,000円に変わります。この支援で、青少年1人が、食へものをつくるための菜園づくりの研修を1年間受けることができます。



◆パレスチナでは…

ガザ地区は14年間にわたる封鎖の悪影響で貧困が進み、貧血・くる病など、子どもの栄養失調の問題が深刻です。JVCは現地NGOと協力し、地域の子ども栄養・発達アドバイザーを育成。情勢がきびしい中でも、自分たちの力で子どもたちの健やかな成長を守りたいと願う女性たちを中心に、子どもたちの栄養状態を保護者やクリニック、地域の大人たちと一緒に改善しています。

ハガキ25枚分(1,500円)の支援で、栄養失調の子ども1人がクリニックへ通うための交通費がまかなえます。

◆不用品はどうやって支援に変わるの？

例えばハガキは郵便局に持ち込み、切手に換えた後に、換金して貰う。外国硬貨や紙幣は一部を円に両替するほか、まとめて収集家の方に買い取っていただきます(事業地の貨幣はそのまま現地で使わせていただくことも)。その他の物品は金券ショップに持ち込んだり、収集家の方に購入いただいたりすることで、資金に変わります。

収集家の買い取り価格の例:
●使用済み切手-10kgごとに約15,000円
●外国硬貨-20kgごとに約35,000円 など



動画で詳しく紹介中!
「JVC」をより深く知るためのYouTube検索



◆JVCとは？

日本国際ボランティアセンター(JVC)は、1980年からアジア・アフリカ・中東・日本の6カ国・地域で活動している国際協力NGOです。

世界中で困難な状況におかれた人々の暮らしを支えながら、人々の声を政府・国際機関に届け、世界の問題をなくすための提言活動を続けています。



切手のまわりに5mm程度の余白を残して切り取ってください。消印スタンプが切れても問題ありません。切手が複数マイの場合は、纏めて切取ってください。紙から切手を剥がさないようにお願いします。

日本国際ボランティアセンター

使用済み切手が国際協力に！



ご家庭や職場から、ぜひご協力ください

卓話時間



国際ロータリー第2710地区 G9
ガバナー補佐 吉田大造 様

「吉原パストガバナーを誕生させて」

私の所属する尾道 RC では、以前は地区に対して関心が薄く、長くガバナー輩出の要請があっても断り続けていたようです。10年近く前からさすがにそろそろクラブとして二人目になるガバナーを出してはどうかという雰囲気クラブ内に生まれていきました。

まずは候補者選びに入り、本人の意思、社内での同意、家族の了解等々を経て吉原さんに決定していきましました。吉原さんの病院内の後継者の問題もあり1~2年延びた経緯もありました。長らくガバナーを出していないわけで、クラブ内はガバナーを輩出することの大変さがあまり実感としてわかっていませんでした。

地区大会には毎年参加していましたから、一番に思ったのは地区大会開催の大変さでした。まず地区大会、懇親会等の会場の確保、といった現実的な問題はすぐに頭に浮かびました。当初懇親会は行わないという方向で進んでいましたが、何かもう一つ物足りない雰囲気になり結局行なうことになった経緯があります。

ガバナーを出すと同時に数十人の委員長(幹事)を地区に出向させなければなりません。人数の面では何とかなるのですが、皆さん普段から地区のことをあまり理解していない会員がほとんどですから、説得し何とか委員長を埋めていきました。地区委員長は前年、当該年度、翌年と準備、本番、引継ぎと三年出向することも多くのメンバーは知らないままでした。しかし、やはりロータリーの会員諸兄です、いったん決まれば皆さん一生懸命に勉強し吉原ガバナーに恥をかかせてもいけないと三年間全員がよく活動してくれたと思っています。

地区大会に向けてもまさに全員が各部会に配属され実行委員長のもと一致団結して成功に導いてくれたと思っております。吉原ガバナー年度の世界大会はドイツのハンブルクで開催されましたが、その数年前から何人かの有志が順次世界大会にも参加し、ハンブルクでのガバナーナイトも無事に成功することができたと思っています。

吉原ガバナーを担ぎ出すことによって会員相互の理解と絆がより深まり、ロータリーに対する理解と考えもより深まったと思っています。

会員紹介コーナー

楠部 滋 会員

- ◆ **職業分類** 呼吸器内科
- ◆ **事業所名（役職名）** 医療法人社団愛心会 なんぶ内科医院（理事長）
- ◆ **座右の銘** 「継続は力なり」



- ◆ **職業奉仕にあたって大切にしていること（モットー等）**

「一隅を照らす者こそ国の宝である」という伝教大師のお言葉を、職員と一緒に実践することが理想です。シンボルマークとして、七福神の乗った宝船の絵を職場の隅に飾っています。自分を含めて職場のみんなが、互いに敬い助け合って創意工夫を重ね、社会に役立つサービスを提供したいと願っています。



- ◆ **近況報告**

医院を開業して30年。家内や職員のおかげで何とか元気でやって来ました。医療と介護を連携させて高齢化の進む地域の人々に少しでも安心して暮らしてもらえるように事業を展開して来たつもりです。自分自身も高齢者となった今、コロナ禍と介護職員不足に直面し、進路変更の必要性を感じ始めているところです。気力と体力の継続のために、出来るだけ長く家内と一緒にゴルフ場に足を運びたいと思っています。

Rotary
ZONE 1A.2&3



世界ポリオデー イベント フォトコンテスト

世界ポリオデーイベントの写真を全国のロータリークラブから募集します。イベントの規模は大小さまざまですが、イベント中のポリオ根絶を訴求するシーンを切り取って写真に残すことで、地区やクラブの活動の記録とします。写真を見た人に感動を与える写真を残し、後々までポリオ根絶の願いを伝える事が目的です。

■写真のテーマ あなたのポリオ根絶の想いを全国のロータリアン、また、写真を見る人達にイベントのストーリーを伝えるショットやシーンを撮影して下さい。

また、あなたが写真を撮影した日時、場所、撮影意図を伝えて下さい。

■審査 第51回ロータリー研究会(11/19-22 神戸ポートピアホテルで開催)会場にて展示し、審査。

■表彰 RI会長賞、RI理事表彰他 ロータリー研究会会場にて発表・表彰し、ポータルサイトに掲載。またロータリーの友誌への掲載を検討中です。

■応募〆切り 2022年10月31日

